

第11回 えんとつフェスティバル2013

～つなげよう資源の輪 広げよう地域の和～

10/12(土)

午前10時～
午後3時

皆さんお越しく下さい!

雨天の場合13日(日)に順延
(13日も雨天の場合は中止)



ステージプログラム

- 10:10 入り天神太鼓
 - 11:00 大声コンテスト
 - 12:00 バンド演奏①
 - 13:20 バンド演奏②
 - 14:30 上宿よさこい
- ※進行上、多少前後する場合があります。

イベント情報

- 10:00 クイズラリー開始
(用紙配布は13:30まで)
- 10:20 清掃工場ミニツアー(1回目)
- 11:40 清掃工場ミニツアー(2回目)
- 13:40 清掃工場ミニツアー(3回目)
- 14:00 クイズラリー終了

開場案内図



(フェスティバル内容)

- フリーマーケット(約40店舗)
- 清掃工場ミニツアー(清掃工場の見学会)
- 参加型イベント(クイズラリー等)
- 模擬店(焼きそば、やきとり、わたあめ等)
- ステージ(和太鼓、よさこいなどを予定)
- 参加団体等のブース その他

【会場でのお願い】

- ペット類の入場はできませんので、ご了承ください。
- 駐車場はありませんので、徒歩、自転車、または公共交通機関をご利用ください。
- 模擬店ではデポジット※にご協力ください。
(※デポジット…再利用のための回収を目的として、あらかじめ販売価格に容器代を上乗せし、容器を捨てずに返却した場合にその容器代を返却するシステム)

(会場案内)：小平・村山・大和衛生組合(小平市中島町2番1号)
東大和市駅又は玉川上水駅徒歩10分



主管：えんとつフェスティバル実行委員会
主催：連絡協議会・小平・村山・大和衛生組合
後援：小平市、東大和市、武蔵村山市

えんとつ

地域版 No.36

発行元 小平・村山・大和衛生組合
〒187-0033 小平市中島町2番1号
電話 042-341-4345 FAX 042-343-5374
平成25年9月発行
http://www.kmy-eiseikumiai.jp/

組織市3市と衛生組合で 3市共同資源化事業を進めています

1 3市市長及び組合管理者による説明会を開催しました

(1) 説明会について

3市市長及び組合管理者による3市共同資源化事業に関する説明会を、本年8月に東大和市立中央公民館において開催し、説明会では、本年3月までの説明会の結果と今後の事業の進め方について報告後、今後の事業の推進について表明しました。

(2) 事業の今後について

具体的には、3市共同資源化事業は3市のごみの共同処理を円滑に実施するために必要であること、3市共同資源物処理施設は3市の将来にわたる廃棄物処理を継続的、安定的に行う上で必要不可欠な施設であること等から、市民の皆様と協議を重ねながら事業を推進していくことを説明し、引き続き、事業への協力をお願いするものです。

2 基本構想等の策定を進めます

今後、3市共同資源化事業基本構想等の策定を行い、基本構想等の策定に当たっては、3市市民が参画できる枠組み等の検討を行うとともに、3市市民と協議しながら、事業の推進に向けて取り組んでいくとしています。

3 事業への協力・理解のお願い

3市共同資源化事業及び3市共同資源物処理施設は、3市34万市民の今後のごみ処理を継続的、安定的に行っていく上で、きわめて重要な事業及び施設であることを認識していただき、引き続き、ご理解ご協力をお願いします。

第11回 皆さん、ぜひお越しく下さい (詳細は最後のページをご覧ください)

えんとつフェスティバル2013

～つなげよう資源の輪 広げよう地域の和～

10/12(土)

10時から15時まで

小平・村山・大和衛生組合

雨天の場合は13日(日)に順延
13日も雨天の場合は中止

えんとつフェスティバルの開催趣旨

- 1 地域づくりにつなげたい(人と人との交流を楽しんでもらいたい)
- 2 組合の事業を知ってもらいたい(みんなの街のごみ処理施設を知ってもらいたい)
- 3 環境を考えるきっかけをつくり、これを広げたい(「もったいない」が、カッコいい社会へ向けて)

～竹内実行委員長(富士見台自治会)ごあいさつ～

皆さんから推され引き受けることになりましたので、よろしく申し上げます。テーマは、「つなげよう資源の輪 広げよう地域の和」です。当日は、多くの皆さんが来場され、地域のつながりを感じていただければ幸いです。清掃工場を身近に感じつつ、一日楽しんでください。

主管：えんとつフェスティバル実行委員会 主催：連絡協議会・小平・村山・大和衛生組合
後援：小平市、東大和市、武蔵村山市 協力：武蔵野美術大学えんとつ仲間

えんとつフェスティバル実行委員会

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 実行委員長
竹内 喜胤 (富士見台自治会) | 総務部会
鳴海 靖郎 (松の木自治会) |
| 副実行委員長
田村 篤子 (幸町団地自治会) | 佐野いずみ (武蔵野美術大学) |
| 会計
加園 皓三 (松の木自治会) | イベント部会
黒田 孝 (松の木自治会) |
| 会計監査
宮内よし子 (中島町AP自治会) | 山田 和美 (日東自治会) |
| 木田 礼子 (幸町6丁目自治会) | 模擬店部会
須賀美佐子 (松の木自治会) |
| | 西角 昭 (松の木自治会) |
| | 松原 彰士 (中島ハイツ自治会) |

割引情報

本紙「えんとつ地域版No.36」を当日お持ちください。
模擬店の割引券を差し上げます。

割引券発行チェック

平成25年度第1回（第87回）連絡協議会

日時 平成25年6月4日（火） 午後7時から午後8時20分まで
場所 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室
（第1回連絡協議会）

- 1 開会あいさつ 霜出副会長
- 2 事務局長あいさつ 水口事務局長
- 3 衛生組合の紹介【ビデオ上映及び衛生組合の概要説明】
- 4 連絡協議会の概要説明
- 5 自己紹介
 - ・小平市・東大和市・武蔵村山市の担当課長及び衛生組合の担当職員
 - ・自治会会長及び専任者
- 6 議題

（1）連絡協議会会長・副会長の選出について

- 【霜出副会長】
・会長・副会長について、立候補される方、推薦のある方はないか。⇒〔各委員声なし〕
- 【霜出副会長】
・それでは、発言がないようなので、事務局のほうでよろしく願いたい。
- 【事務局からの提案】
・事務局長として、松の木自治会の加園会長に連絡協議会の会長、副会長については、幸町団地自治会の田村副会長に願いたいと考えている。

- 【霜出副会長】
・事務局から提案された、会長に松の木自治会の加園会長、副会長に幸町団地自治会の田村副会長に願うことに承認される方は拍手を願いたい。⇒〔拍手多数〕
- 【結果】
・会長には、松の木自治会の加園会長、副会長には、幸町団地自治会の田村副会長とすることが「承認」された。

———正・副会長交代———

（2）連絡協議会の進め方（ルール）について

- 【事務局説明】
- ①会議の開催の頻度は、年5回、おおむね2箇月に1回を予定しているが、特別な事由がある場合は随時行うということで申し合わせされている。なお、平成24年度は6月、7月、9月、12月、2月に開催された。
 - ②会議の日程については、委員の出席しやすい日程等を相談いただいており、昨年は、原則火曜日の午後7時からに決定した経緯があるが、今年度も原則火曜日の午後7時からでよろしいか確認したい。
 - ③会議の傍聴については、要綱を制定し、受入れは10名以内とし、傍聴希望者には住所、指名を記入していただくことになっている。
 - ④代理の出席については、これまで認められていたが、今年の取り扱いも同様としたい。
- 【主な意見】
・会議の開催日については、何かに掲載しているのが⇒組合のホームページに告知している。

- 【結果】
・①の会議開催頻度については了承された。②の会議日程については、原則火曜日の午後7時からで了承された。
③の会議傍聴については、了承された。④の代理出席については、了承された。

（3）えんとつフェスティバル2013の実施について

- 【事務局説明】
・今年は第11回の開催であり、例年どおり連絡協議会と衛生組合の共催として開催したいということをお願いしたい。
- ・今年は10月12日（土）を予定しており、雨の場合は、日曜日に順延する。両日雨の場合は、日曜日に「えんとつ市」の開催を予定している。
- ・事務局では、10回を終え、10年連続で実行委員をされた方を顧問職として願う旨の規約改正を行い、実行委員会を組織したいと考えている。連絡協議会からは、実行委員3人、会計1名、監査2人をお願いしたい。
- ・連絡協議会を構成する自治会員の方に、当日の地域役員として協力をお願いしたい。第2回連絡協議会で、自治会長宛に協力人数等の調査をお願いしたいと考えている。

- 【主な意見】
・実行委員会の開催日も火曜日となるのか。⇒そのようになる。
- 【結果】
・えんとつフェスティバル2013は、例年どおり連絡協議会と衛生組合の共催として開催し、開催日は10月12日（土）とすることで了承された。
- ・実行委員会は、事務局から提案し、幸町団地自治会の田村さん、富士見自治会の竹内さん、中島ハイツ自治会の松原さん、会計には松の木自治会の加園さん、会計監査にはA P自治会の宮内さん、幸町6丁目自治会の木田さん、ということで了承された。また、実行委員会顧問として、こたま自治会の霜出さん、日東自治会の関口さんを推挙し、了承された。
- ・自治会の役員の協力を30名程度お願いし、7月末に予定する第2回の連絡協議会で、地域役員の依頼をアンケートとして各自治会長さんに行うことが了承された。

（4）意見・要望について

特になし。

（5）組織市からの連絡、報告について

- ①小平市
 - ・6月2日（日）に「ごみゼロフリーマーケット」が市役所の北側立体駐車場で午前10時から午後2時まで開催され、約2千名の方の来場をいただいた。当日はフリーマーケットが49店舗の参加があり、粗大ごみの無料抽選会やブックリサイクル、食物資源（生ごみ）から作った堆肥の無料配布、ダンボールコンポスのPR等を行った。また、平成23年度から実施した陶磁器のリサイクルについては、当日620キログラムを回収し、前回まで回収して程度が良いものを安価で販売を行い、好評いただいた。
 - ・陶磁器のリサイクルは、小平市ごみ減量実行委員会と共催して行ったが、今年度から小平市の方で開催し、既に実施したごみゼロフリーマーケットと9月の環境フェスティバル、組合の東隣にある小平市清掃事務所など、4回の回収を予定している。なお、拠点での回収の日時は現時点では未定だが、市報等の広報を通じてお知らせしたい。
 - ・マイバックキャンペーンを3月19日にコープとうきょう小川西町店で実施した。クリーンメイト4名の方の協力を得て、のぼり旗を設置し、マイバック

利用の呼びかけを行い、買物を終えた方を対象にマイバックの利用調査等を実施した。当日のマイバック持参率は73.8%、アンケートを頂いた方へマイバックを97個配布し、アンケートでは、マイバックは定着していると回答された方が51.9%、ほぼ定着していると回答された方が36.3%で、約9割の方がマイバックの利用が定着しているとの結果が出たところである。

・22年度から開始し、今年で4年目となる食物資源循環モデル事業は、現在591世帯に参加いただき、週1回の回収を行っている。昨年度は、600世帯を目標に、年度末には581世帯の参加を頂き、今年度は、モデル地区を市内全域とし、700世帯を目標に約100世帯の追加募集を実施する予定である。追加募集の詳細等は6月20日の市報に掲載し、8月9日まで実施する予定である。参加を希望される方がいた場合は、小平市ごみ減量対策課まで連絡をお願いしたい。

②東大和市

・7月7日の午前9時30分から、東大和市ハミングホールで、「廃棄物の減量対策と処理費用の負担のあり方について」のごみ減量シンポジウムを開催する。内容は、家庭系ごみの有料化に向けてということで、第1部では、「家庭系ごみ有料化の現状と課題」について、東洋大学の山谷歌教授の基調講演を行い、第2部は、「東大和市における今後のごみ減量等について」のパネルディスカッションを行う予定であるので、時間がある方は参加いただきたい。

③武蔵村山市

当市では、施策の推進について部局マニフェスト（部局実行宣言）を実施しているが、これは、各部局の基本方針、重点的に取り組む事務事業の内容を、広く市民に対し公表し、事務事業を推進していくものである。環境課では、使用済小型電子機器等の再資源化制度の検討を行うと宣言したが、現在、使用済みの小型家電は衛生組合で破砕し、資源を選別・回収した後、残さの破砕不燃物を日の出町の最終処分場に埋立を行っているが、廃棄物の適正な処理及び資源の有効活用を図るため、使用済小型電子機器等の再資源化について制度構築の検討を行う予定である。

【主な意見】

- ・小平市のクリーンメイトについて伺いたい。⇒地域において、ごみ出しやごみの分別、ごみ集積場の監視等の役割を行っているが、ごみの減量を進めることの担い手として活動いただいている。
- ・東大和市のシンポジウムは、ごみの有料化の説明を行うのか。⇒ごみの有料化の方向に向けて予定しているものであり、ごみの計画の中で、ごみの有料化を行わなければならないとする基本的な計画があり、当市の審議会においても、有料化の意見をいただいております。今後の有料化の準備を進めるにあたって浸透するためのものである。

（6）衛生組合からの連絡・報告

- ①総務課
 - ・総務課の業務として、人事関係を行う庶務係と予算・契約・会計管理を行う財務係とがある。議会議事であるが、4月12日の小平市長選に伴う臨時会を開催し、小平市長が組合管理者に選任された。5月29日の臨時会では、組合助役に小平市副市長が選任の同意をされた。
- ②業務課
 - ・平成24年度、25年度焼却施設維持管理状況について説明を行った。
- ③計画課

- ・計画課では、ごみ処理施設の計画、調査、統計に関すること、連絡協議会に関すること、えんとつフェスティバルに関すること、足湯施設に関することを行っている。
- ・小平市、東大和市、武蔵村山市の3市では、資源循環型社会を目指して、おのおの市において、廃棄物減量への取組み、リサイクルなどを進めているが、今後、さらなる廃棄物（ごみ）の減量とリサイクルを進めるうえで、処理施設の老朽化や処理能力の限界などの課題があり、課題の解決に向け、小平市、東大和市、武蔵村山市及び衛生組合の4団体で、3市共同資源化事業を進めている。この事業は、平成15年度から進めている事業で、平成33年度のごみ焼却施設の更新も視野に入れ、ソフト面では減量施策や3市の資源化基準の統一など、ハード面では3市共同資源物処理施設の整備と現在の粗大ごみ処理施設の更新を内容とする事業である。現段階では、ハード施策のひとつとして、東大和市桜が丘にある、現在の東大和市暫定リサイクル施設の用地を活用し、プラスチックとペットボトルの資源化を3市共同で行う施設を計画しているものである。今回、平成25年1月に、これまで進めてきた事業の変更と、今後の事業推進に係る方向性を定めた「3市共同資源化事業に関する基本事項について」を、3市と組合の4団体で確認したことから、2月からかけて、連絡協議会の地域を含めて8回の説明会を開催した。資料は、説明会でお示しした、これまでの3市共同資源化事業の取組みの経過と、確認された基本事項、今後の事業の進め方をまとめたものである。現在、4団体では、住民理解の判断を含めた今後の進め方についてを取りまとめているところです。多くの質問や意見の整理・分析に時間を要しており、まともりしだい、報告したいと考えている。
- ・足湯では、今年度、足湯C浴槽の石張り工事、管理室東側の土間部分の改修を行う予定である。
- ・足湯運営連絡会委員であるが、委員の任期は2年で、今年度3期目となるが、連絡協議会から2人の推薦をいただいております。平成25・26年度は、こたま自治会会長の霜出さん、幸町団地自治会専任者の山本さんをお願いしたい。
- また、幸町6丁目にお住まいの八尾喜久江さんに引き続きお願いしたいと考えている。⇒了解された。

- ・灯りまつりについては、市民が、灯籠を作り、会場に持参する形で参加する市民が主体となる行事で、前回の連絡協議会で参加の承認をいただき、今年度はじめて参加するイベントである。足湯施設を利用し、8月3日（土）の午後6時30分～午後9時の間、延長して開場する。雨天の場合中止となる。連絡協議会では、50個程度の灯籠を飾り、自治会員などの協力をいただき、飲み物、カキ氷の販売を計画している。

【主な意見】

- ・パグフィルタ（集じん器）は何年に1度交換するのか。⇒6年に1度行っており、平成26年度に予定している。
- ・施設の地震に対する防災対策について、今後、時間を設けて説明を行っていただきたい。⇒現在、施設の対策等を含め、内部での検討をしているので、出来上がった際には、説明したい。

7 その他

- ・次回の会議は、7月末に開催する。

8 閉会のあいさつ（田村副会長）

平成25年度第2回（第88回）連絡協議会

（第1回えんとつフェスティバル実行委員会合同）

日時 平成25年7月30日（火） 午後7時から午後7時55分まで
場所 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室
＜第2回連絡協議会＞

1 あいさつ 連絡協議会 加園会長

2 議題

（1）組織市、衛生組合からの連絡、報告

- ①小平市
 - ・陶磁器のリサイクルであるが、7月18日（木）に小平市リサイクルセンターにおいて、本年度第1回目の拠点回収を初めて実施し、その結果、760キロを回収した。6月2日のごみゼロフリーマーケットが620キロ、3月21日の小平市清掃事務所が530キロであり、今回の回収場所が地理的に市の中心部にあることもあって、持参しやすいとの声を頂き、好評のうちに終了した。今回の陶磁器のリサイクルは9月の環境フェスティバルにおいて、小平市福祉会館前の広場で実施予定であり、今後も年度内に3回の拠点回収を実施予定である。
- ②東大和市（計画課長より報告）
 - ・7月7日（日）にごみ減量シンポジウムを開催したが、定員200名に対し、190名の参加があった。他市の方の参加もあり、協力いただいたことに御礼申し上げたい。
- ③武蔵村山市
 - ・7月27日（土）にひまわりガーデンむさしむらやまがオープンした。都営村山団地の建替えに伴う3.7ヘクタール（西武ドーム2個分）の空地を東京都から借用して暫定管理を行い、ひまわり畑等を整備したものである。開園期間は8月中旬（予定）、時間は9時～5時まで、入園料は無料であり、ぜひ立ち寄りいただきたい。
 - ・8月24日（土）午後2時～9時30分まで、第35回観光納涼花火大会を野山北公園運動場で開催予定であり、当日は7時45分～8時30分まで打ち上げを行う。長野県朱村や東北地方等の特産品の販売、模擬店やアトラクションも用意しており、ぜひ立ち寄りいただきたい。

④衛生組合（総務課）

- ・7月25日（木）～26日（金）に川越市資源化センター、新潟市新田清掃センターにおいて議員視察を行ったが、色々な質問等が行われ、有意義な視察となった。
- 【業務課】
 - ・「平成25年度 焼却施設維持管理状況一覧表」について説明。
- 【計画課】
 - ・3市共同資源化事業であるが、本年2月から3月まで、今までの事業の取り組み経過と、変更された資源物処理施設の内容を含めた4団体での確認事項、今後の事業の進め方について住民説明会を実施した。これまで、推進本部会議などで説明会の結果と事業の今後について協議をし、3市長と組合管理者へ報告し、承認を得たところである。具体的には、説明会の状況は既にホームページ等で公表したが、説明会の結果として、想定地周辺住民の方の理解は難しい状況であったが、3市共同資源物処理施設は3市の将来にわたる廃棄物処理を継続的、安定的に行っていくうえで必要不可欠な施設であるとの認識にたち、3市と組合で共同して公設で設置していくことを再確認したところである。

- ・7月27日（土）にひまわりガーデンむさしむらやまがオープンした。都営村山団地の建替えに伴う3.7ヘクタール（西武ドーム2個分）の空地を東京都から借用して暫定管理を行い、ひまわり畑等を整備したものである。開園期間は8月中旬（予定）、時間は9時～5時まで、入園料は無料であり、ぜひ立ち寄りいただきたい。
- ・8月24日（土）午後2時～9時30分まで、第35回観光納涼花火大会を野山北公園運動場で開催予定であり、当日は7時45分～8時30分まで打ち上げを行う。長野県朱村や東北地方等の特産品の販売、模擬店やアトラクションも用意しており、ぜひ立ち寄りいただきたい。

④衛生組合

- （総務課）
 - ・7月25日（木）～26日（金）に川越市資源化センター、新潟市新田清掃センターにおいて議員視察を行ったが、色々な質問等が行われ、有意義な視察となった。

（業務課）

- ・「平成25年度 焼却施設維持管理状況一覧表」について説明。

（計画課）

- ・3市共同資源化事業であるが、本年2月から3月まで、今までの事業の取り組み経過と、変更された資源物処理施設の内容を含めた4団体での確認事項、今後の事業の進め方について住民説明会を実施した。これまで、推進本部会議などで説明会の結果と事業の今後について協議をし、3市長と組合管理者へ報告し、承認を得たところである。具体的には、説明会の状況は既にホームページ等で公表したが、説明会の結果として、想定地周辺住民の方の理解は難しい状況であったが、3市共同資源物処理施設は3市の将来にわたる廃棄物処理を継続的、安定的に行っていくうえで必要不可欠な施設であるとの認識にたち、3市と組合で共同して公設で設置していくことを再確認したところである。

～連絡協議会では施設見学に行ってきました～

- ・連絡協議会では、平成25年3月26日（火）に施設見学会を行いました。今回見学した施設は埼玉県川越市資源化センター、参加者は地域の皆さん及び組織市・衛生組合職員で合計26名でした。
- ・今回見学した施設のある川越市は人口34万人で、組織市人口とほぼ同じです。視察概要ですが、川越市資源化センターは、平成22年4月から正式稼働し、敷地内には熱回収施設、リサイクル施設および草木類資源化施設の処理施設と、啓発施設である環境プラザ（つばさ館）等の建物を配した複合施設となっており、今回は、熱回収施設、リサイクル施設、環境プラザを視察しました。
- ・参加者からは、ごみの匂い、排ガス等の環境への影響、リサイクルに関する質問等が出され、非常に関心を持っていただいた様子でした。このような見学会を通じて、ごみ処理全般への関心を持つとともに、組合事業への理解を深めていただく一助になれば幸いです。

～灯りまつりが行われました～

足湯では、8月3日（土）午後6時30分から9時まで「灯りまつり」が行われました。小平市では小平市グリーンロード推進協議会、灯りまつり実行委員会との主催で7回開催され、今年度初めて足湯も会場となりました。灯りまつりは、市民が灯ろうを作り、会場に持参し参加する行事で、今回は連絡協議会や足湯施設美化アダプトの協力を得て、灯ろうを足湯内に配置しました。当日は、模擬店なども出され、多くの方で賑わい、地域の皆さんが足湯に浸かり、語り合いながら、幻想的な雰囲気の中で楽しみました。



なお、8月には3市長と組合管理者が出席し、今後の事業への取り組みについての市民説明会を予定しており、その後、衛生組合の臨時会において補正予算をお願いし、認められれば基本構想等の策定に入る予定である。

- ・8月3日（土）にこもれびの足湯において、灯りまつりを開催する。灯籠の製作は足湯美化アダプトに依頼しているが、連絡協議会主催となっており、灯籠等の設置等にご協力いただきたい。当日は午後6時30分から9時までであり、カキ氷、売店での販売もあるので、お越しいただきたい。

<質疑等>

- ・武蔵村山市の収集車は竹ぼうきを持参しているが、小平市と東大和市の収集車には、竹ぼうきがないようだ。⇒（小平市）確認するが、収集車については、収集箇所の美化に努力していると聞いている。
- ・ある収集車には、1名しか乗車していないが。⇒民間事業者の収集と考えられる。

（2）えんとつフェスティバル2013実行委員会委員について

- ・事務局より、実行委員会委員候補者について名簿のとおり提案。

【結果】

実行委員会委員名簿（案）のとおり「了承」された。

—組合企画委員会委員の紹介—

（3）意見・要望について

特になし。

（4）その他

特になし。

3 閉会

<第1回えんとつフェスティバル実行委員会>

1 竹内実行委員長あいさつ

2 議題

（1）えんとつフェスティバル2013の概要について

- 【事務局説明】
・昨年の反省点、開催趣旨書（案）、開催要項（案）、概算予算（案）等について説明。
- <主な意見等>
・イベント等の企画は決まっているのか。⇒決まっていないので、今後決めることとなる。

（2）地域役員の確保について

当日に協力いただける人数を把握するため、事務局から自治会へ依頼しているが、強制ではないものの、今年度も同様に協力を願いたい。

（3）その他

今回の実行委員会（単独）は、8月27日（火）午後7時から、連絡協議会・実行委員会（合同）は、9月24日（火）午後7時から、衛生組合会議室で開催することとした。

3 閉会

足湯情報

～こもれび募金（足湯施設美化アダプト募金）実績報告～

皆様からの募金のご協力ありがとうございました。平成24年度の実績報告は下記のとおりです。なお、繰越金等を含む募金総額133,428円から、81,392円を園芸用資材や花の苗などに活用させていただきます。



区分	募金の期間	募金額
第1期	H24.5.1～24.11.25	38,441円
第2期	H24.11.26～25.5.14	21,973円
	計	60,414円